

チュラロンコン大学総合健康科学部と部局間交流協定を締結

保健科学研究院 研究院長 齋藤 健



▲写真1 チュラロンコン大学総合健康科学部との部局間交流協定の締結

2018年8月9日に、本学保健科学研究院・保健科学部とチュラロンコン(Chulalongkorn)大学総合健康科学部(Faculty of Allied Health Sciences)との間で部局間交流協定を締結いたしました(写真1)。調印式はチュラロンコン大学で行われ、保健科学研究院から、私と山内国際交流専門部会長、浅賀教授、堤助教および山品助教が、チュラロンコン大学総合健康科学部からは、パラニー学部長をはじめ12名の教員が参加されました(写真2, 3)。

チュラロンコン大学は1917年に設立されたタイにおいて最も長い歴史と高い教育・研究水準を誇る大学です。その中において総合健康科学部はチュラロンコン大学の第17学部として1991年に設置された比較的新しい学部ですが、この研究分野ではタイで初めて設立された学部で、新たな研究棟も完成し、今まさに発展を遂げつつある学部です。チュラロンコン大学総合健康科学部と本研究院・学院との部局間交流協定

は、本研究院医用生体理工学分野の教員を中心とするチュラロンコン大学医学部放射線科(2015年部局間交流協定の締結)との活発な交流が、チュラロンコン大学の部局再編成や大学院の新設の流れの中、総合健康科学部との交流へと広がったものですが、今後はさらに広範囲なHealth Science分野(Radiological Technology, Medical Technology, Physical TherapyおよびNutrition and Dietetics)との研究交流や大学院教育での協働を目指して締結されたものです。

タイは古くから日本と友好関係を築いている国であり、昨年、日本とタイが国交を開始してから130周年を迎えました。その時締結された条約は、明治の日本政府が東南アジア諸国と外交関係を結んだ最初の条約であることから日本とタイの親密な友好関係の歴史をうかがい知ることができます。

北海道大学はチュラロンコン大学と大学間協定を締結しており、これまでも様々な研究分野で交流が行われていますが、今回の部局間協定を契機に、Health Science分野の研究・教育の両面でのさらなる密接な交流を通じて、双方に有益なパートナーシップを構築していくことを目指しています。具体的には、サマー・インスティテュートによるチュラロンコン大学教員の北大での特別講義をはじめ、ラーニング・サテライトによる本研究院の教員のチュラロンコン大学での講義や学部学生・大学院生の交換留学、博士後期課程におけるコチュテル・プログラムの導入に向けた検討などを積極的に押し進めることを計画しています。次号のプラテュスで、動き出した交流活動をお届けできる予定です。



▲写真2 チュラロンコン大学総合健康科学部との部局間交流協定の調印式



▲写真3 部局間交流協定調印後の昼食会